



【プレス・リリース】

国際協力銀行（JBIC）、みずほフィナンシャルグループ、ドイツ銀行、
太平洋鉄道連結プロジェクト向けに総額 1 億 2,000 万米ドルの
ターム・ローン・ファシリティ設定に調印

【2002年10月18日、東京】 国際協力銀行（JBIC）、みずほフィナンシャルグループ、ドイツ銀行は、コロンビアでの太平洋鉄道改修・連結プロジェクト向けに総額 1 億 2,000 万米ドルのターム・ローン・ファシリティを設定することで合意し、10月16日にコロンビア政府と調印を行なった旨を発表しました。期間 9 年の同ファシリティは、国際協力銀行のアンタイド保証プログラムに基づき、みずほフィナンシャルグループとドイツ銀行が共同で引受け、共同主幹事を務めました。太平洋鉄道改修・連結プロジェクトは、コロンビアが推進している主要な開発プログラムです。同ファシリティは、国際協力銀行のアンタイド保証案件としては、コロンビアで初の案件となります。

調達される資金は、コロンビアの太平洋鉄道連結プロジェクト（総額 5 億米ドル）の一環として使用されます。同プロジェクトは、太平洋岸の港湾都市ブエナVENTウラからカリトラ・フェリサまでを結び、ラ・フェリサに貨物積み替えターミナルを構築、メデジンまでの軌道を近代化することにより、大西洋鉄道に連結する総延長 498 キロに及ぶ鉄道の修復計画です。2 つの鉄道網は政府により 30 年間の免許を付与されています。同鉄道の改修・連結により、太平洋岸と大西洋岸の主要都市すべてが連結され、貨物輸送の大幅なスピードアップが図られます。

同ファシリティは、みずほフィナンシャルグループとドイツ銀行に加え、UFJ 銀行、農林中央金庫、BNP パリバ銀行東京支店、ソシエテ・ジェネラル銀行東京支店、エービーエヌ・アムロ・バンク・エヌ・ブイが参加し、東京でシンジケート組成されました。

以上

ドイツ銀行グループは、総資産約 9,000 億ユーロを有し、8 万 4,500 人の従業員を擁する世界でも有数の金融機関として、世界 75 カ国で 1,200 万人を超える顧客の皆さまに幅広い金融サービスを提供しています。特に、企業金融、証券・投資銀行、トランザクション・バンキング、資産運用、プライベート・ウェルス・マネジメントの分野では、世界でもトップクラスの金融機関として、その地位を確立しています。ドイツ銀行グループでは、顧客重視の姿勢を一貫し、また顧客サービスをより強化するため、組織を「法人・機関投資家向けビジネス（CIB）」と「個人・資産運用ビジネス（PCAM）」の 2 つに集約しています。当グループは、グローバルな金融機関として、幅広い顧客ニーズに適した金融ソリューションを提供する一方で、ドイツを拠点とする卓越した金融機関として企業価値の増大にも努めています。

日本においては約 1,350 名の従業員を擁し、ドイツ証券会社東京支店、ドイツ銀行東京支店、投資顧問子会社等を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

<この件に関するお問い合わせ先>
広報担当
電話: (03) 5156-7705